

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第4区分

【発行日】平成29年11月2日(2017.11.2)

【公表番号】特表2017-510704(P2017-510704A)

【公表日】平成29年4月13日(2017.4.13)

【年通号数】公開・登録公報2017-015

【出願番号】特願2016-551821(P2016-551821)

【国際特許分類】

C 22C 30/02 (2006.01)

C 22F 1/10 (2006.01)

C 22F 1/00 (2006.01)

【F I】

C 22C 30/02

C 22F 1/10 H

C 22F 1/00 6 2 3

C 22F 1/00 6 2 4

C 22F 1/00 6 2 6

C 22F 1/00 6 3 0 A

C 22F 1/00 6 3 0 M

C 22F 1/00 6 3 1 A

C 22F 1/00 6 4 0 A

C 22F 1/00 6 4 1 A

C 22F 1/00 6 4 1 B

C 22F 1/00 6 8 5 A

C 22F 1/00 6 8 5 Z

C 22F 1/00 6 9 1 B

C 22F 1/00 6 9 1 C

C 22F 1/00 6 9 4 A

C 22F 1/00 6 3 0 K

【誤訳訂正書】

【提出日】平成29年9月19日(2017.9.19)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

Cを最大0.02%

Sを最大0.01%

Nを最大0.03%

C_rを20.0%から23.0%まで

N_iを39.0%から44.0%まで

M_nを0.4%から1.0%未満まで

S_iを0.1%から0.5%未満まで

M_oを4.0%超から7.0%未満まで

N_bを最大0.15%

C_uを1.5%超から2.5%未満まで

A₁を0.05%から0.3%未満まで

C_oを最大0.5%

Bを0.001%から0.005%未満まで

Mgを0.005%から0.015%未満まで

鉄を残分として、ならびに溶融に伴う不純物

を含む（質量%）、高い耐孔食性および間隙腐食耐性、ならびに冷間硬化状態で高い弾性限度を有する、チタンを含まない合金。

【請求項2】

Cを最大0.015%

Sを最大0.005%

Nを最大0.02%

Crを21.0%から23%未満まで

Niを39.0%超から43.0%未満まで

Mnを0.5%から0.9%まで

Siを0.2%から0.5%未満まで

Moを4.5%超から6.5%まで

Nbを最大0.15%

Cuを1.6%超から2.3%未満まで

A₁を0.06%から0.25%未満まで

C_oを最大0.5%

Bを0.002%から0.004%まで

Mgを0.006%から0.015%まで

Feを残分として、ならびに溶融に伴う不純物

を含む（質量%）、高い耐孔食性および間隙腐食耐性、ならびに冷間硬化状態で高い弾性限度を有する、チタンを含まない合金。

【請求項3】

Crを21.5%超から23%未満まで

Niを39.0%超から42%未満まで

Moを5%超から6.5%未満まで

Cuを1.6%超から2.0%未満まで

含む（質量%）、請求項1または2に記載の合金。

【請求項4】

必要に応じてVを0%超から1.0%まで含む（質量%）、請求項1から3までのいずれか1項に記載の合金。

【請求項5】

Vを0.2%から0.7%まで含む（質量%）、請求項4に記載の合金。

【請求項6】

請求項1から5までのいずれか1項に記載の組成を有する合金を製造するための方法において、

a) 該合金を開放式に連続鋳造法または造塊法で溶融して、

b) モリブデン含有率の増加により引き起こされる偏折を阻止するために、作製したスラブ／鋼片の均質化焼きなましを1150から1250まで15時間から25時間までにわたって実施し、ここで、

c) 均質化焼きなましを最初の温間加工に統いて行う、前記方法。

【請求項7】

石油産業およびガス産業の構成部材としての、請求項1から5までのいずれか1項に記載の合金の使用。

【請求項8】

構成部材が、薄板、テープ、管（長手方向溶接および継目なし）、ロッドの製品形態としてまたは鍛造部材として存在している、請求項7に記載の使用。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0040

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0040】

ここで、製品形態として、薄板、テープ、管（長手方向溶接および継目なし）、ロッドまたは鍛造部材が考えられる。